

# お天気解説

## アキラのズバツと

東京地方の気候変動シリーズ

“Now & Then”

### 暖冬と寒春

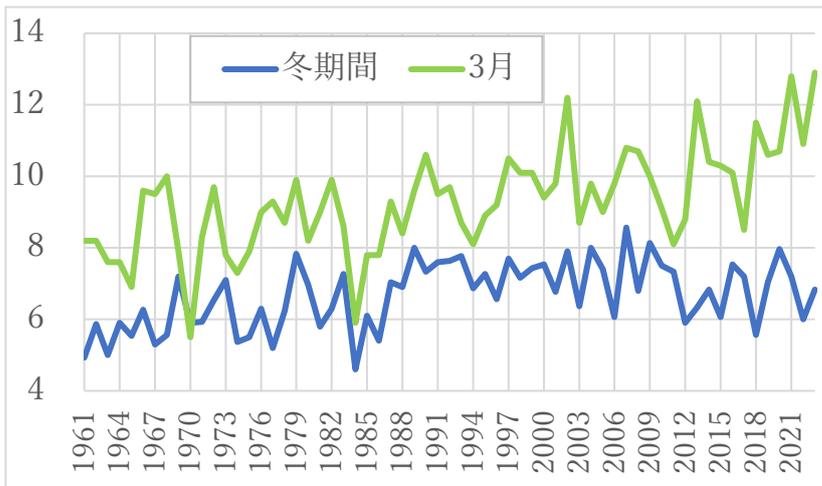
令和6年2月16日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

「春一番」が吹きました。暖かな春がまた一歩進んできた感じですね。2月もあと少しで終わりますが、この冬を振り返ると、気象庁の予想通り「暖冬」で、強い寒波は長続きせず、暖かな日が何回もあり、この冬期間（12～2月）の平均気温は平年を上回りそうです。

さて、私が高校生の頃に読んだ気象の本の中に、「冬が暖かかった年は、春が寒くなる」ということが書かれていたのを覚えています。北極の寒気は蓄積され放出されることを周期的に繰り返しますが、冬が蓄積期に当たってしまうと、放出されるのが春になり寒くなってしまいます。実際、昭和44年は全国的に暖冬だったのですが、3月にぐっと気温が下がり、東京では警報が発表された大雪が2回もあったのです。4日は昼頃でも氷点下でサラサラした雪が降り、都心で19cmも積もりました。この月の平均気温は都心で7.9℃と平年より1.5℃低く、春一番も吹かず、寒い3月でした。

1970年冬は寒さが厳しく、冬期間の平均気温は5.9℃と低かったため、暖かい3月が期待されたのですが、3月の平均気温は5.5℃と記録的低温を観測したのです。その頃から、冬の気温が低いと3月も低くなる傾向に変化したのです（グラフ参照）。特に1984年冬は寒さが厳しく、3月も記録的低温5.9℃となり、月間の降雪日数が10日もありました。そのせいか、



図：東京都心の冬期間（12～2月）の平均気温と、3月の平均気温

東京の桜の開花が4月11日と平年より半月ぐらい遅くなりました。1986年も寒冬と3月の低温の年で、警報が発表された大雪が彼岸に降りました。東京では電車の追突事故、アーケードの倒壊など大きな雪害がありました。

その後、寒冬と寒春の傾向は2010年頃まで続きましたが、近年は冬の気温が下がっても3月は暖かくなっています。

今回は「桜の開花はいつ？」をお送りします。

2024年02月16日11時 気象庁 発表				
日付	今日 16日(金)	明日 17日(土)	明後日 18日(日)	
東京地方	晴後曇	晴時々曇	晴時々曇	
降水確率(%)	-/-/0/10	10/0/0/10	10	
信頼度	-	-	-	
東京 気温 (℃)	最高	14	13	16 (15~18)
	最低	-	2	4 (3~5)

#### 東京地方の週間天気予報より

気象庁HPから抜粋

(日曜日からまた暖かくなりそうです。)